

平成22年度 事務事業の総点検 結果集計表

結果集計表の見方

- 今回の点検結果は、取り組み時点（平成22年8月末）における事務事業の担当部署の考え方を整理したものであり、市の最終決定を示すものではありません。
- 点検後の事業数が点検前より減っているのは、今回の総点検にあたり、事務事業の目的等に目して、事務事業の統合・分割を行ったことによるものです。
- 今後の事業の方向性「事業の規模」の4区分の説明は以下のとおりです。
 拡充 今後規模を拡充し重点的に取り組むべき事務事業
 維持 現在の規模を維持するべき事務事業
 縮小 規模を縮小すべき事務事業
 休廃止 休廃止すべき事務事業
 一部、市だけの判断で事業の方向性を決定できないため、記載のない事業があります。
- 今後の事業の方向性「手法の改善」の4区分の説明は以下のとおりです。
 維持 現在の手法を維持すべき事務事業
 軽微な改善 概ね現在の手法で問題ないが、軽微な改善を行うべき事務事業
 抜本的改善 手法の抜本的な改善を行うべき事務事業
 休廃止 休廃止すべき事務事業（「事業の規模」において休廃止とした事業）
 一部、市だけの判断で事業の方向性を決定できないため、記載のない事業があります。
- 「一般財源ベース事業費削減取組額」は、それぞれ平成23年度の事業実施にあたり、平成22年度当初予算と比較して削減が見込まれる金額を記載しています。
 基本的には、事務事業点検シートの「23年度予算事業費増減見込」欄の一般財源増減額を集計したのですが、各部における削減努力を反映するため、以下の調整を行っています。
 ・元々平成22年度限りの予定であった活動にかかる事業費の削減分は集計から除く。
 ・制度の対象者増等による扶助費の増額見込分は市全体の財政収支計画の中で見込んでいるため集計から除く。
 ・特定財源収入の増のうち、一般財源収入の増と同様に市の財政収支改善に貢献するものは集計に加える。

部名	事業数		今後の事業の方向性										一般財源ベースの事業費削減取組額 (千円)
			事業の規模					手法の改善					
	点検前	点検後	拡充	維持	縮小	休廃止	記載無	維持	軽微な改善	抜本的改善	休廃止	記載無	
政策部	29	31	2	26	2	1	0	20	10	0	1	0	8,268
中心市街地活性化プロジェクト	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	5,000
総務部	36	36	7	28	1	0	0	20	11	5	0	0	23,240
財務部	106	106	6	96	2	2	0	97	4	3	2	0	14,913
コミュニティ推進部	49	45	8	34	2	1	0	21	22	1	1	0	34,160
文化芸術部	43	42	0	39	2	1	0	20	21	0	1	0	9,938
福祉部	122	121	6	111	1	3	0	97	18	3	3	0	42,832
保険・健康部	195	195	11	166	6	11	1	154	26	3	11	1	38,443
環境部	30	30	8	18	1	3	0	15	8	4	3	0	28,094
産業振興部	71	71	2	66	1	0	2	56	9	4	0	2	17,654
土木部	65	65	1	56	2	6	0	44	10	5	6	0	40,339
都市整備部	51	47	6	33	1	7	0	28	11	1	7	0	52,181
下水道部	46	46	5	41	0	0	0	25	14	7	0	0	5,500
市立市民病院	9	9	1	8	0	0	0	9	0	0	0	0	1,700
会計室	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	100
交通部	3	3	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0	0
水道部	13	13	3	10	0	0	0	5	8	0	0	0	18,000
教育委員会事務局	117	117	17	93	4	3	0	77	36	1	3	0	85,001
市議会事務局	4	4	0	3	0	1	0	0	3	0	1	0	1,000
監査事務局	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	100
選挙管理委員会事務局	6	6	0	6	0	0	0	5	1	0	0	0	100
公平委員会事務局	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
農業委員会事務局	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2,900
消防本部	20	20	5	14	0	1	0	11	7	1	1	0	7,036
合計	1020	1012	89	851	26	43	3	709	219	38	43	3	436,499
	割合		8.8%	84.1%	2.6%	4.2%	0.3%	70.1%	21.6%	3.8%	4.2%	0.3%	